

地域フォーラム報告書

平成21年8月17日・18日

(仮称) 富里市協働のまちづくり条例検討委員会

地域フォーラム報告書

目 次

	ページ
1 開催日時・会場	1
2 プログラム	1
3 参加者数	1
4 内容	2
第1部 基調講演	
第2部 パネルディスカッション・意見交換	
5 アンケート回収率	1 2
6 アンケート集計結果	1 3
【参考資料】	
(1) 配布資料	2 5
(2) アンケート	2 7

1 開催日時・会場

日程	時間	会場
8月17日(月)	19:00～20:55	北部コミュニティセンター 2階ホール
8月18日(火)	19:00～20:50	富里中央公民館 2階研修室

2 プログラム

(1) あいさつ

(2) 基調講演

『地域の資源をつなぐ協働のまちづくり』

講師：関谷昇氏（千葉大学法経学部准教授）

(3) パネルディスカッション・意見交換

『市における市民活動と協働について』

3 参加者数

	参加者数	スタッフ数	合計
17日(月)	47	21	68
18日(火)	47	25	72

※スタッフ数は、検討委員会，コーディネーター，パネリスト，運営に携わった方（手話通訳者，音響等），事務局の人数です。

☆出席委員☆

	委員名
17日(月)	久野委員長，高澤副委員長，荒野委員，前川委員，伊藤委員，石川委員，佐藤委員，伊井委員（8名）
18日(火)	久野委員長，高澤副委員長，荒野委員，二上委員，斉藤委員，大木委員，石川委員，佐藤委員，伊井委員，小澤委員（10名）

☆委員の役割分担☆

役割	担当	
	8/17 北部	8/18 公民館
司会進行	伊藤委員	大木委員
パネリスト	関谷先生	関谷先生
	久野委員長	高澤副委員長
	佐藤委員	石川委員
	前川委員	荒野委員
	地域の方（中山晃二氏）	地域の方（佐伯康隆氏）
	地域の方（大木和己氏）	地域の方（小泉喜市郎氏）
コーディネーター	佐藤仁志氏	佐藤仁志氏
議事録作成	伊井委員	斉藤委員
	荒野委員	小澤委員
会場係	事務局	事務局
アンケート等作成・集計	二上委員，草野委員，渡辺委員，森田委員	

4 内容

第1部 基調講演

『地域の資源をつなぐ協働のまちづくり』

講師：関谷昇氏（千葉大学法経学部准教授）

＜ 講 演 ＞

- ・ 社会の背景の変化
 - ①経済の右肩上がり
 - ②社会や会社の形の変化
 - ③物事に対して考え方の変化
- ・ 協働への参加の型として

{
行政と市民
市民同士
}

 がある。
- ・ 当事者の声（個人）個人の声を発する事が重要
 - ※住民の視点から
 - （住民のメリット→思いついたらすぐ始められる事）

連携の必要性について

各種市民活動のつながり。

従来の壁をどう変えられるか？

※行政の視点から

- ・ 行政は決められた形がなければ動けない
- ・ 市民に公平なサービスをしなければならない
- ・ 行政は現場に行き、住民の側面を見るべきである
- ・ 活動がルール化されていないため対応に差がある
- ・ 協働の条例が出来れば、行政が行う事業も計画の段階で市民が参加し、意見を言えるようになる。
- ・ 個々が自分らしく

《 質疑応答 》

《 8月17日分 》

（質問） 地域資源の意味がわからないので、教えてほしい。

（回答） 自然資源（産物（すいか）、人、金、物、施設 etc.すべて）

※事例 徳島県の例 山にある葉っぱを「つまもの」として出荷して、経済効果になった。



《 8月18日分 》

（質問） 「条例」というのは、どういう作用をするのか。

（回答） 今回検討している条例は、行政と市民の関係をルール化していく。

- ・ 市民が参加、参画できるような機会の保障
- ・ 団体間の連携
- ・ 行政プロセスへの参画など。

- (質問) 「地域資源」とは、こういったものか。
- (回答) 人、資金、施設、自然資源、産物など富里市にあるいろいろなもの。協働は、眠っている資源に意味合いを与えていくことが重要。
- (質問) 個人では気づかないテーマ。誰が指導してどのようにリードするのか。
- (回答) 1人では無理なので、いろいろな人が出会える場というものが必要。
- (質問) 地方分権と叫ばれているがほんとに分権できるのか。どの程度の地方分権なのか。
- (回答) 地方で権限を与えられてやっていけるのかということが言われている。払拭するように自立してやっていけるかどうかにかかっている。



第2部 パネルディスカッション・意見交換

『市における市民活動と協働について』

≪8月17日分≫

コーディネーター：佐藤仁志氏（元毎日新聞成田支局長）

パネリスト：関谷昇氏（千葉大学法経学部准教授）

久野直衛氏（検討委員会委員長）

佐藤征人氏（検討委員会委員）

前川恵右氏（検討委員会委員）

大木和己氏（日吉商店会元会長）

中山晃二氏（富里市文化振興協会理事）

《 パネルディスカッション概要 》

(コーディネーター)

佐藤氏あいさつ (元毎日新聞成田支店長)

富里でやっていく課題は？

(関谷)

- ① 団体間の連携をどうできるか。
- ② 南部，北部の地域差をどうするのか。

(コーディネーター)

市としては，どうして協働が必要か。

(市：企画課長)

- ① 富里をめぐる社会情勢
- ② 少子高齢化
- ③ 財政の問題
- ④ 国からの地方交付税 20 億円から 11 億円の財政の減少
- ⑤ 市民のニーズの変化
- ⑥ 行政のサービスの变化

(コーディネーター)

今まで検討委員会で，どんな話をしてきたのですか。

(久野)

- ① 検討委員会は，15 名のメンバー（公募 8 名，市民活動団体等代表 7 名）で構成されている
- ② 委員も初めは，何をしたいのかもわからない状態だった
- ③ 個々の課題を各立場で出し合った結果
(環境，人，仕組みづくり) 3つの課題にたどりついた

(コーディネーター)

委員になってどう感じたか？

(佐藤)

日吉台 3 丁目ふれあい隊の発足について説明

- 課題
- ・ リーダーの高齢化
 - ・ 市からの受け皿
 - ・ 若い人の参加がない
 - ・ このまちづくりが協働にどう関わっていくか



(コーディネーター)

地域防犯についてどう考えるか。

(前川)

- ・新しいメンバーが増えない（南七栄では、現在20名）
- ・担い手の発掘をどうするか
- ・同じ活動をしている団体と連携をとっていきたい

(コーディネーター)

市民団体の経験からどう思うか？

(大木)

- ・日吉台に商店会ができなかった理由 ※商店会発足7年目
(以前からの在住者でなく、他市町村からの来た人が多く、お互いがわからない)
- ・ダイエーなど大型店が撤退し、シャッターが閉まってしまう。
店が増えたため、地域の活性化の必要性を感じた。
- ・自治会の変化
 - ①住民が高齢化している
 - ②自治会活動が活発化している
(防災訓練、炊き出し訓練)

※日吉台の現在の活動が富里全体の活動につなげていければとの思い。

(中山)

- ・富里市御料から日吉台に移住
- ・スイカロードレースの手伝い（7年目）
- ・日吉台地区と南部の交流が全くないのでは？
- ・高知の県民は、他県の人でも訪れた人はみんなお客さん
- ・プールの手伝いで、市や住民がもっと協力してくれたらいいなどの思いがある。

公共性を大切にするのであれば、市からの連絡係でなく住民サイドに寄り添ってほしい。

(コーディネーター)

【会場へ】

まちづくりの参加、経験はありますか？あったらよかった点は？

(会場)

市民に何を提供しろというのですか。今でさえ、全部ボランティアなのに。

(市：企画課長)

市民と交流会なども設けて、もっと市民の声を聞いていく

(コーディネーター)

行政は、縦割りなので、横の関係をつくるということか。

(関谷)

- ・活動団体は狭く，小学校単位の活動がよい。(地域密着型に)
- ・行政は黒子に徹する。
- ・これまでの事業の見直しが目的

(コーディネーター)

地域単位の件についてはどうか。

(会場)

- ・パワフルな地域を目指すならば，このような機会（フォーラム）がもっとほしい。
- ・一定の時期で決めてしまっていていいものか？



(会場)

会合をもちながらもすでに青写真ができているのでは？

そのあたりの説明をもっとしてほしい

(会場)

- ・市の職員に対して，対応も良いと思う。
- ・市民にも意識改革の必要性があると思う。

(コーディネーター)

情報の発信力，情報の受信力について

お互いの意識がずれないために言いたいことは？

(久野)

小さな町だからこそ出来るという思い。

この機会を一度で終わらせたくない。

(関谷)

- ・フォーラムは1回だけでなく（市で行うのではなく）住民が主になって行えたら
- ・市は言える環境づくり
- ・市民は決して無関心ではない
- ・市民の意見を聞いていくことが必要



- ・ルールを作ることによって意見を反映させることができる
- (コーディネーター)
- 地方分権改革⇒地方はどれだけできるのか。
- 自分はこうしていきたいんだと発信していくことが重要

《 8月18日分 》

コーディネーター：佐藤仁志氏（元毎日新聞成田支局長）

パネリスト：関谷昇氏（千葉大学法経学部准教授）

高澤忠彦氏（検討委員会副委員長）

石川政江氏（検討委員会委員）

荒野峰之氏（検討委員会委員）

佐伯康隆氏（十倉台区長）

小泉喜市郎氏（富里国際交流協会副会長）

《 パネルディスカッション概要 》

(コーディネーター)

富里市の財政状況は、人口5万人で120億円。県下で下から2番目規模。

「協働」がなければ市民サービスの維持できないのか。

(市：企画課長)

三位一体改革で地方交付税が大幅に減少し、財政状況は厳しい。

今後の行政サービスがどうなるのか。

これまでの社会情勢から今後どれくらい対応できるか。

少子高齢化をどういうふうに対応するか。

「協働」をさらに押し続けた上で、今後まちづくりを進めていきたい。

今後の行政サービスについても、協働の観点を取り入れて、住みよい町を目指して考えていきたい。

(コーディネーター)

協働条例検討委員会の状況を。

(高澤)

2月から10回の会議を重ね議論している。

（問題点，根本原因はどこにあるのか。解決方法はどこにあるのか。課題を8つに絞り，さらに「環境づくり」，「人づくり」，「仕組みづくり」の3つに絞った。）

これから条例の目的，理念，協働の精神について条例の骨格，定めるべき事項，方策，協働のあり方をまとめ，市長に提言書を提出する。

（コーディネーター）

【委員以外の2名の方へ】

市民参加，協働について自分の経験を踏まえ協働に対し思っていること，疑問に思うことを発言してほしい。

（佐伯）

市民参加，協働については，興味を持っている。

実現すれば富里が立派なまちになると思う。

（小泉）

ここにくるまで「協働」の予備知識は全然ない。

（コーディネーター）

【会場へ】

協働や条例について聞きたいことがあれば。

（会場）

10月に提言書を提出するというが，我々に内容を知らせなくて，提案できるのか。

（高澤）

まだ条例の骨格だけで条文についてはこれから検討していく。皆さんの声を最大限に活用していきたい。

（会場）

条例でしばるという感じがする。

先生の話（知る・つなぐ）とは，かけ離れたフォーラムになっているような気がする。10月に市に条例の提案をするとのことだが。

（高澤）

条例は最終的には議会で可決するもの。条例ではなく，提言書を提出する。

（コーディネーター）

情報を逐次共有しないとダメではないか。委員もそのことを十分に承知している。いかにして情報を共有するのか。



(荒野)

検討委員会では、難しい発言はしていない。

身近な情報や困ったことを話し合っている。

委員15名だけでなく、皆さんの意見を聞きましょうということで開催している。市長に提言書を提出する予定だが、皆さんがイメージするものとは違っているように感じる。

個人的には、任期が終わっても地域フォーラムをこれからも続けていきたい。

(石川)

ボランティアの役員をしている。社会福祉協議会の事業の1つにボランティアセンターがあり、年間1,000件の要望があり、ボランティアの担い手が足りない。担い手がたくさんいたら、細やかなサービスができると思う。



地域の人たちの情報の共有が大切。行政用語や横文字が少なく、条例も最後まで読んでもらえるようなわかりやすい文章にしたい。

(コーディネーター)

二人の委員から「情報を共有するかが大事」だとあったが、昨日も同じような指摘を受けている。受信発信について誤解を生まないようにどうやってうめていくか。

(関谷)

条例では、情報の共有、話し合える場、それぞれの段階で開かれた場で、意見交換ができる環境づくりを整えないといけない。前提を整えないことには意見を出したくても出せない。それをルール化しようとしている。

(会場)

日吉台地区では、10年前から地域の防災部を立ち上げて、非難訓練、消火訓練、救助訓練、炊き出し訓練を毎年している。

ボランティアで災害地に行って帰ってきたのだが、その町は、防災について進んだ町だったのにもかかわらず大変な状況だった。

富里は、災害に対して対策がお粗末。このままでいいのか。11ヶ所ある避難所には、水も食料も毛布もない。阪神淡路大震災に遭われた方に聞くと、生活には水が欠かせない。早急に検討してほしい。

(コーディネーター)

防災対策。住民が心配に思っていることだと思う。条例を作り、議論の土台を作ったうえでテーマに挙げて、市と一緒に考えていくことになる。

(会場)

環境づくり，人づくり，仕組みづくりに絞ったということだが，イメージしにくい。

みなさんがどういう検討をしているのかは，全く私たちに伝わっていない。



(高澤)

環境づくりとは，協働をしやすくするための体制を整える。

人づくりとは，担い手，コーディネートの問題（リーダー的な人の育成）

仕組みづくりとは，情報公開の場など。

検討状況は，市ホームページで協働のまちづくり検討委員会の会議録等公開している。

(会場)

①スイカロードレースなどすごいパワーで行われている。野菜や花畑など他のものをアピールしたらどうか。

②富里の財産は農業だと思う。少子高齢化になっていくが，人材をどうするのか。

③成田空港とどう密接に関わりながら富里を繁栄させていくのか。

④インター周辺を整備して盛り上げていくべき。

アイディアをもっと出して条例づくりに反映させていただければと思う。

(コーディネーター)

アイディアを出しやすくするための土台づくりが重要だと思う。

最後にパネリストから一言ずつ。

(小泉)

地域のかかわりは，「七栄っ子を守る会」。

「国際交流協会」は，文化面で，ジャズフェスティバルを開催し，富里高校の生徒とアメリカの高校生が交流。また中学生のホームステイ派遣事業を行っている。交流を通じて，子どもたちが変わってきている。のびのびとした子どもが育つ町になってほしいと思い，ボランティアをしている。



(佐伯)

地区民生委員児童委員協議会で、災害時に高齢者などをサポートできるような防災マップのようなものを作成する作業をしている。

(荒野)

団塊ジュニアと言われる世代。がんばって富里を盛り上げてきたみなさんの後継者は、私たちだと思う。地域フォーラムも若い世代に伝えていき、会を重ねることが大切だと思う。

(石川)

協働とは、市民と市。市民同士が同じ目的で取り組むことだと自分なりに理解している。

(高澤)

今日いただいたご意見を踏まえて、検討委員会で生かしていく。

検討委員会は公開しているので、傍聴に来てください。

(会場)

昨日、今日と参加したが、北と南で内容も違うので、参加できなかった人に向けて両方のフォーラムの内容をインターネットで流してください。

(関谷)

資源（人・物など）がバラバラ。

それらを積み重ねていく環境を整えていくことが条例づくり。

こういう場を増やしていけるように。

(コーディネーター)

最後にアンケートにご協力を。

5 アンケート回収率

	参加者数	回収数	回収率
17日(月)	47	42	89.4%
18日(火)	47	45	95.7%

6 アンケート集計結果

Q 1) 性別

	8/17	8/18	合計
男	32	26	58
女	10	19	29
合計	42	45	87

Q 2) 年齢

	8/17	8/18	合計
10代	0	0	0
20代	0	1	1
30代	0	2	2
40代	1	3	4
50代	10	11	21
60代	22	19	41
70代以上	9	9	18
合計	42	45	87

Q 3) お住まい小学校区

	8/17	8/18	合計
富里小	0	8	8
富里第一小	2	21	23
富里南小	1	5	6
浩養小	0	1	1
洗心小	0	0	0
日吉台小	35	1	36
根木名小	0	3	3
七栄小	3	4	7
未記入	1	1	2
市外	0	1	1
合計	42	45	87

Q 4) ご職業

	8/17	8/18	合計
自営業	3	7	10
農業・自営業等, 家業の従事者	1	3	4
お勤め（フルタイム）	4	4	8
パート	7	9	16
学生	0	1	1
その他	26	18	44
未記入	1	3	4
合計	42	45	87

※その他の内訳

	8/17	8/18	合計
無職	17	8	25
主婦	2	2	4
講師	1	0	1
市議	1	0	1
年金受給者	0	3	3
未記入	5	5	10

Q 5) 普段、地域活動等に参加されていますか。

	8/17	8/18	合計
参加している	41	40	81
参加していない	1	5	6
合計	42	45	87

Q 5-1) どのくらいの頻度で活動されていますか。

	8/17	8/18	合計
週1回以上	16	12	28
月1回以上	22	25	47
その他	2	2	4
未記入	1	1	2
合計	41	40	81

※その他の内訳

	8/17	8/18	合計
随時	1	0	1
出られるときだけ	0	1	1
年 4 回	1	0	1
未記入	0	1	1

Q 6) 本日のフォーラムの内容はどうでしたか。(全体的に)

	8/17	8/18	合計
よくわかった	11	1	12
わかった	17	30	47
わからなかった	4	5	9
全くわからなかった	0	2	2
未記入	10	5	15
コメントつき回答	0	2	2
合計	42	45	87

・「わかった」欄には、「少し」と強調した回答の方 4 名分を含んでいます。

・コメントつき回答

※『「わかった」・「わからなかった」の中間』（1名）

※『漠然として不満でした』（1名）

Q 6-1) 第一部「基調講演」の内容は、どうでしたか。

	8/17	8/18	合計
よくわかった	18	8	26
わかった	18	30	48
わからなかった	3	2	5
全くわからなかった	0	1	1
未記入	3	4	7
合計	42	45	87

・「わかった」欄には、「少し」と強調した回答の方 3 名分を含んでいます。

Q 6－2) 第二部「パネルディスカッション」の内容は、どうでしたか。

	8/17	8/18	合計
よくわかった	3	0	3
わかった	20	24	44
わからなかった	7	13	20
全くわからなかった	1	1	2
未記入	11	7	18
合計	42	45	87

- ・時間不足。もっと議論を深化させることが重要。この種の会議をさらに多く継続的に！
- ・時間不足。パネラーの話と参加者とのつながりが少しでも生まれて欲しかった。参加者の意見を聞く時間が不足！！
- ・「わかった」欄には、「少し」と強調した回答の方4名分を含んでいます。

Q 7) 今後協働の取り組みをしていきますが、富里市に協働は必要だと思いますか。

	8/17	8/18	合計
必要	32	40	72
必要ない	0	0	0
わからない	9	3	12
未記入	1	2	3
合計	42	45	87

Q 7－1) どのような分野で必要だと思いますか。(複数回答あり)

	8/17	8/18	合計
福祉	27	27	54
子育て支援	16	19	35
環境	24	23	47
防犯	16	18	34
地域自治会	16	18	34
その他	5	6	9

※その他の内訳

	8/17	8/18	合計
防災	2	1	3
商業地の活性化	1	0	1
行政（※１）	1	1	2
地域の活性化	1	0	1
文化（※２）	0	2	2
商業・観光	0	1	1
高齢者	0	1	1

行政（※１）

8/17 行政に対して、予算、長短期計画、まちづくりに関する分野

8/18 行政のあり方

文化（※２）

8/18 文化活動

8/18 文化の継承・発展

Q 8) 本日の地域フォーラムや協働のまちづくりについて具体的なお提案等
がございましたら、ご自由にご記入ください。

8/17 アンケートより

（60 代男性）

- ・ボランティアのみでは、参加者が少ない。
- ・自治会での関心高揚を図るべき

（70 代以上男性）

- ①公共交通の問題
- ②子育て支援
- ③年寄りの買い物のつきあい
- ④シルバー人材センターの活力
- ⑤後世に継ぐまつり
- ⑥日吉台音楽祭を野外ステージで大々的に。

（70 代以上男性）

委員会としてどのような富里市を目指そうとしているのか。具体的なまちづくりの未来像の提起がない。社会環境が大きく変化する中で、より力強い活力を維持、発展させるため市民からどのような力を引き出し、行政に取り組もうとするのか、もっと多様な意見を吸収し、問題点（検討項目）を絞り、富里市にふさわしいビジョンにまとめることが望ましい。聞くところ、年内

に案をまとめたいというが、急ぐことはない。あと一年間、じっくり力を貯えることがもっと必要である。

(50代女性)

- ・第1回めでしたので、委員の人たちの説明で、時間が過ぎ、ディスカッションまでには至らなかったと思う。
- ・地域の人たちの意見をより反映させるためには、検討委員会の存在を広く知らせ、その人に伝えられるようにしてはどうか。

(60代男性)

- ・直面している具体的な問題、わかりやすく、数値で表し、情宣して欲しい。

(70代以上男性)

- ・現在、検討委員会を今後継続してまちづくりのため進行して頂きたい。
- ・講演を持って欲しい。
- ・何回かフォーラムを
- ・多くの市民に、小学校単位で開くことを

(50代男性)

- ・第一部では、いろいろな面で共感するものがありました。
色々勉強になりました。
- ・第二部では、自治会を通じた経験を述べた内容に対して共感できました。
これからもがんばってください。

(70代以上男性)

- ・時間が足りないと思う。もっと参加者の声をすいあげには、数回必要。意見交換、ディスカッションとは程遠い。

(50代女性)

講演はわかり易く、良かったですが、意見交換の時間があまり取れず不満です。時間のとり方に最初から無理があったのではありませんか。

(60代男性)

外部から富里に来て、26年のものがどのような形で参加できるかを考えなければならないと感じ、これから行動したいと思っています。

(60代男性)

協働のまちづくり条例とは？

地域資源（自治会，PTA，防犯，社会福祉，商店会 etc.）活動項目を分類し，方向を出す。目的とする方針を条文化することなのか。

条例づくりのスケジュール（行程）が示されなかった。いつまでに作成予定ですか。

（60代女性）

日吉台通りのネオンを消してほしい。

（50代男性）

まちづくりに「王道」はないと思います。小さな積み重ねの賜ではないでしょうか。まずはコミュニケーションづくり（各自治会，サークル，商店会，行政 etc.）ではないでしょうか。そして，数多くのミーティング。その上で住民が真に望むルールづくりではないでしょうか。非常に楽しみです。

（60代男性）

関谷氏の講演に大いなる共感（今までやってきたこと。今やっています）を覚え，うれしく，また，今後の希望，勇気につながった気がしました。自分達の町を自分達の手で作っていくことを願ったとき，行政も地域も「本気」でなければいけないと痛感していました。講演にありました「課題の共有」が確かに重要です。現在，3丁目自治会の歩みを更に着実に一步一步進んでいきたいと強く感じました。

「本気」であるために「行政」と「議会」に加え，また，その前の段階に「市民委員会」の結束を望みます。この「共有の場」なしには，条例を作っても実効性のないものになることを心配します。

日吉台3丁目自治会の席に，関谷先生に来ていただきたい，見て欲しい！との思いを強くしました。

（60代男性）

市民の参加がどのように進められるのか，行政マンの覚悟が問われます。担当者が仕事としてやるのか，市民感覚でやるのかによって，市民が本気を出すと思います。是非，小さくてもいい，成功させたいですね。高齢者のヘルプは，どうしても市民の協力が必要ですが，ともにすると個人情報保護法ということで，十分機能する前のハードルがありそうな気がします。

（70代以上男性）

- ・継続的活動のできる人材の確保が問題になると思います。（自治会の任期は1年，義務的参加が本音。）

- ・現時点では，具体的提案を出すだけのまとめはできておりません。

（50代男性）

協働が必要，ルールが必要ということは理解できると思います。しかし，「条例」がどんなものになるのか？条例ができたあとはどうなるのか？が見えにくいように思います。本日の議論がどう「条例」につながるのか？今回は初めての地域フォーラムということで，背景，基本の説明，理解が重要ということでしょうが，次の機会がありましたら，是非，目指す条例の姿についてもご紹介いただければと思います。北部と南部の交流について，パネラーの一人からご指摘がありましたが，交流のためには，交通の便が果たす役割が大きいと思います。公共交通機関の充実に期待したいと思います。

(60代男性)

検討委員会がもっともんで型が整った時点でこのフォーラムを開催すべきで時期尚早だと思った。

(60代男性)

- ・富里市としての地域資源は何か？また，その活用の仕方は？
- ・地域自治会活動を積極的に支援すべきではないか？
- ・市報に各地域の自治会活動の載せる「欄」を設けては……。これが各地域における協働の体制が発展していくのでは？

(60代男性)

「子育て支援」というより「子供資源」分野として受け止められそう。(学校を含めて。)

(50代女性)

日吉台商店街には，駐車場がなく，それが他からの客を呼べないネックだと思います。まず多量の駐車場の場所を確保し，健全な商店街に戻って欲しい。我々もお店の利用を心がけなければならないと思う。十三里ですから市の文化，民芸，民話等を勉強し，まず，市のことを理解する必要性を感じました。

(70代以上女性)

高齢化になっていくので，難しいのでは？

市長さんが参加されると思ってましたので，残念です。

(60代男性)

第三者に委任して，タイムスケジュールを含めて，立案して，進めるほうがよい。当事者だけでは，前に進まないと思います。

(70代以上男性)

- ・出席住民との意見交換の時間が殆どなかった。もう少し時間が欲しかった。
- ・土・日曜（祝）日にして、参加者する人が多いほうがよいと思う。

8/18 アンケートより

（60代男性）

- ・地方分権を優先する指針があると思うが、地域活性化になると思うが、条例、条例で縛るのはどうかと思う。
- ・教授の講演内容でつなぐ、知り合う、知る事が重要であることは理解できた。
- ・人と人とのつながりがなぜ標語にしなくてはならない時代になったのか。いつから悪くなったのか。その原因の説明があればよいと思った。

（70代以上男性）

情報公開のためには、もっと開くべき。

（70代以上女性）

協働についての広報に取り上げたほうが。「地域フォーラム」非常に良いと思いました。

（30代男性）

- ・さとバスの運行について

老人で足の悪い方がいるのですが、ご自宅からさとバスのバス停が遠く、ルートからも外れています。もう一度、運行について検討してあげてください。

- ・今日は、協働のまちづくりについての集まりだったのか。

各地域の意見を提案する場だったのか、わからなかった。今度は、是非、地域の方の話を聞ける場をお願いします。

（70代以上男性）

時間が足りない。消化不良な感じ。

（70代以上男性）

今夜のフォーラムは、「報告会」みたいです。参加者に対するアプローチの姿勢に疑問を感じたまま終わってしまった。市民参加の具体的な方策を聞かせて欲しかった。例えば、情報の収集の窓口はどこなのか？委員会事務局だとすれば、市役所である。純粋な民間有志の組織なのか、市の行政の最前線の位置にあるのか、委員長は誰なのか、質問は沢山あるが、時間が不足で

出来なかった。

(50代男性)

検討委員の方々での素案に今回のフォーラム参加者の意見も参考にして、条例作製にお願いしたい。

(70代以上男性)

主旨がまとまらないフォーラムになった。優秀な司会を以ってしても難しいようだ。

質問、意見が、自分の関心事の吐露になっている。つくづく難しいと思った。

(60代男性)

高齢者及び交通不便な場所への買い物支援もしくは、ボランティア、コミュニティビジネスでの野菜を中心とした販売を検討したいと考えています。協働のまちづくりの一つになりますでしょうか？何が生まれるのか？楽しみながら進めたいと考えています。賛同者、アドバイザーを探しています。

(60代男性)

現在、各市町村で協働のまちづくり条例の制定が進んでいるが、県や国のバックアップが今後必要になってくると思われるが。

(70代以上男性)

富里市におけるそれぞれの現状、問題点について説明がないと、協働の必要性を判断しかねる。

(50代男性)

大地震に対しての防災対策が本年初めて、「富里市避難訓練実施」10月4日（日）に実施されますが、人の命を守る防災について、もう一歩ふみこんだ対策（話し合い）を協議できるように（実例的）を希望します。

(50代女性)

今回一回に限らず、また、本日のような機会があれば、また参加したいと思います。さまざまなご意見を聞くことが出来、とても参考になります。

(50代女性)

広い意味での“環境整備”が必要だと考えます。交通手段が、車社会なので、鉄道網の整備が重要だと思います。住民のひとりひとりがすみやすい富里市を考えていくことが重要だと思います。そして、実現させていくことだと思います。

(50代女性)

初めての参加ですが、自分達の市は、自分達で作るということでひとりの力では何も出来ないが、皆で協力して、より良い市作りをしてください。→一年と言わず長く続けて欲しいです。

(60代男性)

富里市で青年会議所，お見合いフォーラムを作ってもらいたいと思います。

(60代男性)

協働のまちづくりは，少子化高齢化によりサービスが減少するわけで必要と思いますが，財源の問題で，条例に盛り込まれないものもでてくるのでは？

(60代女性)

フォーラムをもっと開催して欲しい

(40代女性)

- ・資料を用意して欲しかった
- ・HPをこまめに見ます
- ・障害者についての話が出なくて不安があります。

(70代以上男性)

- ・行政に情報を開示して欲しい。
- ・富里市には，小学校が8校あり，早く同じ土俵で，協議，活動することが必要である。早く，小学校協議会を作るよう指導して欲しい。(我が第一小学校は，平成9年に設立している)

(20代女性)

今回のフォーラムでは，理論で“協働”を進めているようでしたが，チラシにあったように意見を出し合って，まず言ってみて，市民が“こういう場を持ちたい”と思わせるべきだったと思いました。

(60代男性)

行政はもっと頑張ってもらいたい。

(60代女性)

- ・このような機会を是非，続けてもらいたい。
- ・検討委員会で提言したものは，市民に公開してほしい。
- ・条例に本当に反映されることを望みます。結果も聞きたいです。やりっぱなしにならないように。

(60代女性)

- ・第一部のみ理解
- ・第二部については、意味が通じない

(50代女性)

今日の参加者を見回すとやはり年齢が上の人が多い。もっと若い人にも参加してもらえるように考えたほうが良いと思う。

(70代以上男性)

時間が不足して、自分の意見を言えなかった。高齢者がうずもれているので、考える必要がある。(大きな資源です。)このようなミーティングが必要です。

(60代男性)

「緑との共生」は、富里市のテーマとしてかけられてきました。手入れのされていない「山」「林」が多くあります。里山づくりを例にして、この「条例」でも取り組んでみたらどうでしょうか。→ふるさとづくりになり、定住率向上につながると思います。今日の質問にありました「自転車の走れる道路づくり」も問題→解決に取り組めないでしょうか。

上記 Q7 のように「協働」とは分野を限定するのですか？

(50代女性)

パネルディスカッションは、事前の打ち合わせをしっかりと下さい。
コーディネーターは、地元の人がいいと思います。



目で見えて、耳で聴いて、
心で感じて、話そうよ！

協働によるまちづくりを目指す



地域フォーラム

「つながろうよ。人と人のつながりを！」



本日のプログラム

8月17日（月） 北部コミュニティセンター 2階大ホール

8月18日（火） 富里中央公民館 2階研修室

第1部 19:00～19:30

基調講演

『地域の資源をつなぐ協働のまちづくり』

講師： 関谷 昇 氏

千葉大学法経学部准教授

（仮称）富里市協働のまちづくり条例検討委員会アドバイザー



第2部 19:30～20:30

パネルディスカッション・意見交換

『市における市民活動と協働について』

コーディネーター： 佐藤 仁志 氏

元毎日新聞成田支局長

パネリスト： 検討委員 他



主催：（仮称）富里市協働のまちづくり条例検討委員会

（仮称）富里市協働のまちづくり条例検討委員会と検討の経過

富里市では、「市民・市民活動団体・事業者」と「市」が協働で魅力と活力ある地域社会を築くため、市民と行政などの責任・役割や権利などまちづくりの基本となる事項を明確にする「（仮称）富里市協働のまちづくり条例」の制定を目指しています。

制定に向け、一般公募 8 名、各種団体推薦 7 名の合計 15 名の市民で構成された検討委員会を設置し、平成 21 年 2 月 3 日に 1 回目を開催しました。現在までに 10 回の会議を重ね、地域社会における課題等の整理をし、課題解決に向けた方策について検討しています。今後、条例に定めるべき事項や条例を実効性のあるものにするため方策、協働のあり方などをまとめ、市長に提言書を提出します。

※なお、検討状況については、市ホームページに掲載してあります。

今後の会議予定

第 11 回

日時：平成 21 年 9 月 8 日（火）13：30～

場所：富里市役所別館大会議室

第 12 回

日時：平成 21 年 9 月 25 日（金）13：30～

場所：富里市役所分庁舎大会議室

委員会は、原則公開で行っておりますので、傍聴を希望される方は、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

（仮称）富里市協働のまちづくり条例検討委員会事務局（富里市総務部企画課）

〒286-0292 富里市七栄 652-1

電 話： 0476-93-1111 メール： kikaku@city.tomisato.lg.jp

ホームページ： <http://www.city.tomisato.chiba.jp/>

ア ン ケ ー ト

今後、検討委員会を進めるにあたり、参考にさせていただきたいと思いますので、皆様のご意見をお聞かせください。

(該当するものに○をつけてください。)

Q 1) 性別

- a 男 b 女

Q 2) 年齢

- a 10代 b 20代 c 30代 d 40代 e 50代
f 60代 g 70代以上

Q 3) お住まい小学校区

- a 富里小 b 富里第一小 c 富里南小 d 浩養小
e 洗心小 f 日吉台小 g 根木名小 h 七栄小

Q 4) ご職業

- a 自営業 b 農業・自営業等、家業の従事者
c お勤め（フルタイム） d パート e 学生
f その他（ ）

Q 5) 普段、地域活動等に参加されていますか。

※ここでの「地域活動」とは、自治会活動、PTA 活動、ボランティア活動、NPO 活動、地域団体活動などです。

- a 参加している b 参加していない

⇒「参加している」と回答された方

Q 5－1) どのくらいの頻度で活動されていますか。

- a 週1回以上 b 月1回以上 c その他（ ）

Q 6) 本日のフォーラムの内容はどうでしたか。（全体的に）

- a よくわかった b わかった c わからなかった d 全くわからなかった



Q 6－1) 第一部「基調講演」の内容は、どうでしたか。

- a よくわかった b わかった c わからなかった d 全くわからなかった

Q 6－2) 第二部「パネルディスカッション」の内容は、どうでしたか。

- a よくわかった b わかった c わからなかった d 全くわからなかった

Q 7) 今後協働の取り組みをしていきますが、富里市に協働は必要だと思いますか。

- a 必要 b 必要ない c わからない

⇒「必要」と回答された方

Q 7－1) どのような分野で必要だと思いますか。

- a 福祉 b 子育て支援 c 環境 d 防犯
e 地域自治会 f その他（ ）

Q 8) 本日の地域フォーラムや協働のまちづくりについて具体的なお提案等がございましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

（仮称）富里市協働のまちづくり条例検討委員会